

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地				
ヤマザキ動物専門学校		平成6年6月27日	井上 留美	〒 150-0046 (住所) 東京都渋谷区松濤2-16-5 (電話) 03-5454-1101				
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人ヤマザキ学園		平成6年6月27日	山崎 薫	〒 150-0046 (住所) 東京都渋谷区松濤2-3-10 (電話) 03-3468-1100				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度			
文化・教養	動物管理専門課程	愛玩動物看護学科	令和3(2021)年度	-	-			
学科の目的	専門的な知識や技術だけでなく動物に関する幅広い知識と技術を身に付け、国家資格「愛玩動物看護師」の取得を目指す。愛玩動物看護師国家試験受験に必要なカリキュラムに加え、本校独自のカリキュラムを実施することで、付加価値の高い愛玩動物看護師を目指す。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	愛玩動物看護学科では、愛玩動物看護師に必要な教養を俯瞰的に学び、社会的自立を図るために必要な能力を養う。愛玩動物看護師国家試験受験に必要な科目1,800時間に加え、本校独自のカリキュラム960時間を加えることで、動物看護・グルーミング・トレーニングを総合的に学ぶことができる。国家資格である「愛玩動物看護師」の他、NPO法人日本動物看護師協会の発行するアニマル・ヘルス・テクニシャン(動物衛生健康技術師)、ドッグ・グルーミング・スペシャリスト、キャット・グルーミング・スペシャリスト、コンパニオン・ドッグ・トレーナー、ケナイン・リハビリテーション・セラピスト・ベーシックの取得を目指す。							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技	
3年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 2,700 単位時間 単位	1,620 単位時間 単位	単位時間 単位	1,080 単位時間 単位	単位時間 単位	単位時間 単位	
生徒総定員	生徒実員(A)	留學生数(生徒実員の内数)(B)	留學生割合(B/A)	中退率				
360人	353人	0人	0%	7%				
就職等の状況	■卒業者数(C) : 81 人 ■就職希望者数(D) : 69 人 ■就職者数(E) : 68 人 ■地元就職者数(F) : 55 人 ■就職率(E/D) : 99 % ■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 81 % ■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 84 % ■進学者数 : 1 人 ■その他 : 就職活動中、卒業目標、就職希望無し等 (令和5年度卒業生に関する令和6年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 動物病院、グルーミングサロン・ペットショップ、動物系企業他							
	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL							
	第三者による学校評価							
	当該学科のホームページURL	<a href="https://senmon.yamazaki.ac.jp/course/">https://senmon.yamazaki.ac.jp/course/</a>						
	企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)						
		総授業時数		2,700 単位時間				
		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		180 単位時間				
		うち企業等と連携した演習の授業時数		単位時間				
		うち必修授業時数		2,700 単位時間				
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		180 単位時間				
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位時間						
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位時間						
(B: 単位数による算定)								
総単位数		単位						
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		単位						
うち企業等と連携した演習の単位数		単位						
うち必修単位数		単位						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		単位						
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		単位						
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)		単位						
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		9人					
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		3人					
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人					
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		1人					
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		2人					
	計		15人					
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数					3人			

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程(カリキュラム)の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善工夫等を含む。)に活かすことを基本方針とする。委員会で審議した事項に関しては、その結果または経過を校長に報告するものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は専門学校運営会議の下に置く。上記基本方針に則り、教育課程編成委員会を開催し、企業が求める育成人材像や必要とする知識・技術・その他の多様な能力等について広く情報交換・意見聴取を行い、指摘事項について教務委員会にて検討を行う。

委員会は次の事項について審議する。

- (1) 業界における人材の専門性の動向に関する事項
- (2) 国又は地域の産業振興の方向性に関する事項
- (3) 実務に必要な最新の知識・技術・技能に関する事項
- (4) その他、教育課程の編成に関する事項

委員会で審議した事項に関しては、その結果または経過を校長に報告するものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
富澤 誠	特定非営利活動法人 日本動物衛生看護師協会 事務局長	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	①
内田 明彦	ヤマザキ動物看護大学 動物看護学部 学部長	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	②
有谷 恵美	コンパニオン・アニマル・センター 課長	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	③
井上 留美	ヤマザキ動物専門学校校長	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	—
佐藤 恵子	ヤマザキ動物専門学校副校長・事務部長	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	—
橋本 直子	ヤマザキ動物専門学校教育部長	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	—
井上 桃子	ヤマザキ動物専門学校事務部教務・学生課長	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	—

令和6年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
花田 道子	特定非営利活動法人 日本動物衛生看護師協会 理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
齋藤 めぐみ	一般社団法人 日本動物看護職協会 理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
有谷 恵美	コンパニオン・アニマル・センター 課長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
井上 留美	ヤマザキ動物専門学校校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
内田 明彦	ヤマザキ動物専門学校副校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
橋本 直子	ヤマザキ動物専門学校教育部長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
佐藤 恵子	ヤマザキ動物専門学校事務部長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
井上 桃子	ヤマザキ動物専門学校事務部教務・学生課長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8～9月、2～3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年8月23日 14時00分～15時30分

第2回 令和6年3月5日 14時00分～15時00分

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

愛玩動物看護師の国家資格化に伴い業務範囲として加わった内容の指導法(採血、採尿、マイクロチップ装着の実習での指導方法等)について、シミュレーター等の代替教材の導入について賛同を頂き、保定と採決の練習ができる猫型シミュレーターを、学生2人に1頭使用できるよう購入し導入した。

基礎学力不足の学生に対する学校でのサポート方法についてご意見をいただき、3年生に対しては国家試験対策として、AIを組み込んだ記憶定着アプリを導入した。新入生に対しては入学前ドリルの学習成果を入学後にテストで確認し、基礎学力の定着を図った。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内の授業・実習等で修得した知識や技術を企業等の現場で活用し、実践力を高める。また、連携を行う企業とは連携体制を築き、より実践的な職業教育となるように努める。業務の流れを把握し、清掃から消毒までの衛生管理を学ぶ。診察補助、主な処置法、院内清掃、衛生管理、調剤受付、飼い主対応、電話対応、手術見学、入院動物看護等、動物看護技術を修得させる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

事前に担当教員と企業等の責任者が実習前に事前に打ち合わせを行い、実習内容の詳細について決定するとともに、生徒の学修成果の評価指標等について定め、実習前に企業実習に関する協定書を結ぶ。実習中は動物看護師が実際に行う仕事をスタッフとともにやり、動物病院業務がどのようなものなのか、またグルーミングの重要性を実習を通し学び、動物看護師の重要性を理解し、今後の就職活動に役立てる。実習終了後は、実習担当者との情報交換を行い今後の教育に反映する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
動物看護総合実習Ⅰ	3.【校外】企業内実習(4に該当するものを除く。)	コンパニオン・アニマル・センターにおいて、動物看護業務に参加し、施設の概要や機能、獣医師との連携、飼主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任などを理解し、今後の研修および就職活動に役立てる。	株式会社ヤマザキ教育サポート
動物看護総合実習Ⅱ	3.【校外】企業内実習(4に該当するものを除く。)	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。	ヴィアーレ動物病院、フジタ動物病院、やはぎ動物病院、桜井動物病院、小森どうぶつ病院 他(全526社)
動物看護総合実習Ⅲ	3.【校外】企業内実習(4に該当するものを除く。)	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。	あおき動物病院、あだち動物病院、カトウ獣医科クリニック、シンシア動物病院、どうぶつ眼科Eye Vet 他(全526社)

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学校法人ヤマザキ学園就業規則第14条(研修)の規定に基づき、ヤマザキ動物専門学校教職員の研修について円滑な実施を図るため、研修に関する方針を次のように定めるものとする。動物愛護の精神に基づき、広く社会の要請に応じ、人間性豊かな教養と教育水準の向上を図り、職業又は实际生活に必要な能力のある人材の養成を図るため、我が国最大規模を有する動物管理・愛護の教育を施す専修学校として、精選したカリキュラムのもとに目的達成に向けて、努めるものとする。動物管理・愛護に関する専門的・高度な知識と技術の維持向上を図り、その職責遂行のため、常に最高にして最新の教育を実施することに留意し、学外の関係学会・研修会等に参加し、研修を重ねよう努めるものとする。学外の関係学会・研修会等に参加しようとするときは、授業計画及び学事等に支障のない範囲内で、事前にあらかじめ、校長及び理事長の承認を得て参加するものとし、修了後も同様に報告する義務を有するものとする。また、その学外研修等の結果については、学内における報告会・勉強会等を通じて、広く教育の充実改善に反映するよう努めるものとする。

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学校法人ヤマザキ学園就業規則第14条(研修)の規定に基づき、ヤマザキ動物専門学校教職員の研修について円滑な実施を図るため、研修に関する方針を次のように定めるものとする。動物愛護の精神に基づき、広く社会の要請に応じ、人間性豊かな教養と教育水準の向上を図り、職業又は实际生活に必要な能力のある人材の養成を図るため、我が国最大規模を有する動物管理・愛護の教育を施す専修学校として、精選したカリキュラムのもとに目的達成に向けて、努めるものとする。動物管理・愛護に関する専門的・高度な知識と技術の維持向上を図り、その職責遂行のため、常に最高にして最新の教育を実施することに留意し、学外の関係学会・研修会等に参加し、研修を重ねよう努めるものとする。学外の関係学会・研修会等に参加しようとするときは、授業計画及び学事等に支障のない範囲内で、事前にあらかじめ、校長及び理事長の承認を得て参加するものとし、修了後も同様に報告する義務を有するものとする。また、その学外研修等の結果については、学内における報告会・勉強会等を通じて、広く教育の充実改善に反映するよう努めるものとする。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	ペピイWEBライブセミナー 問題行動2023 a la carte ～ 犬の行動から飼い主さんの行動まで～	連携企業等:	ペピイセミナー事務局
期間:	令和5年7月23日	対象:	教員
内容:	トレーニングの指導力向上(問題行動に対する対策)		
研修名:	動物看護大会	連携企業等:	一般社団法人日本動物看護職協会
期間:	令和5年10月15日	対象:	愛玩動物看護師、獣医師
内容:	動物看護分野の指導力向上(一次診療における救急対応、チーム獣医療 他)		
研修名:	グルーマー(トリマー)教師向け研修会	連携企業等:	全国専修学校動物系教育協会
期間:	令和6年2月22日	対象:	グルーミング指導教員
内容:	グルーミング技術の指導力向上(スピードグルーミング)		

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	ビジネスマナー基礎講座	連携企業等:	公益社団法人 渋谷法人会
期間:	令和5年4月26日	対象:	教職員
内容:	学生指導・接客技術向上セミナー		
研修名:	JP PET NEWS式動物医療市場2023	連携企業等:	(株)JPR(プリモ動物病院グループ)
期間:	令和5年5月9日・5月25日	対象:	教職員
内容:	動物医療市場の最新情報セミナー		
研修名:	令和5年度コミュニケーション研修～ビジネスマナーの基礎を学ぼう～	連携企業等:	公益財団法人 私学財団
期間:	令和5年5月22日	対象:	教職員
内容:	学生指導・接客技術向上セミナー、ロールプレイング		
研修名:	教員実践研修～指導力養成講座～	連携企業等:	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会
期間:	令和5年6月23日、7月6日、7月20日、8月3日、8月4日、8月24日	対象:	教員
内容:	授業計画の作成、授業作成についての指導		

研修名:	令和5年度重要・経営課題研修 ICT活用力向上～道徳のない増幅器(テクノロジー)を学びにどう活かすか～	連携企業等:	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
期間:	令和5年7月11日	対象:	教職員
内容	学生指導・接客技術向上セミナー、ロールプレイング		
研修名:	令和5年度中堅教職員研修 学校の経営	連携企業等:	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
期間:	令和5年7月25日、26日	対象:	中堅教職員
内容	学校経営や運営についてのロールプレイング		
研修名:	令和5年度学校評価研修会 自己評価と法令等による基礎要件の点検	連携企業等:	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
期間:	令和5年8月3日	対象:	教職員
内容	自己評価についてのセミナー		
研修名:	アサーティブコミュニケーション	連携企業等:	公益財団法人東京都私学財団
期間:	令和5年8月8日	対象:	教職員
内容	学生指導・コミュニケーションセミナー、ロールプレイング		
研修名:	令和5年度中堅教職員研修会 新任指導力(メンタリング)	連携企業等:	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
期間:	令和5年8月9日、10日	対象:	中堅教職員
内容	新任指導力養成(メンタリング)セミナー、ロールプレイング		
研修名:	パソコン講座 Excel2019応用	連携企業等:	公益財団法人東京都私学財団
期間:	令和5年8月19日	対象:	教職員
内容	PC技術向上のための実習		
研修名:	令和5年度中堅教職員研修会 能動的学修(職業人としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの体験学習)	連携企業等:	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
期間:	令和5年8月24日、25日	対象:	中堅教職員
内容	講義授業をアクティブ・ラーニングへ展開するロールプレイング		
研修名:	令和5年度学校評価研修会 学校関係者評価と改善への取り組み	連携企業等:	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
期間:	令和5年8月29日	対象:	中堅教職員/管理職
内容	学校評価及び学校関係者評価と改善についてのセミナー		
研修名:	令和5年度重要・経営課題研修 「学校教育とSDGs」～持続可能な社会の作り手を育てる～	連携企業等:	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
期間:	令和5年8月30日	対象:	教職員
内容	それぞれの立場でのESD(持続可能な開発のための教育)についての考えについてのディスカッション		
研修名:	令和5年度中堅教職員研修会 リスクマネジメント(クレーム対応)	連携企業等:	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
期間:	令和5年9月1日	対象:	中堅教職員
内容	クレーム対応についてのロールプレイング		
研修名:	令和5年度人権教育研修 ～入学(園)者選抜及び採用選抜における留意点～	連携企業等:	公益財団法人 私学財団
期間:	令和5年9月5日	対象:	入試担当者、就職担当者
内容	人権教育セミナー		
研修名:	多様化する学生への教育的サポートを模索する	連携企業等:	ヤマザキ動物看護専門職短期大学
期間:	令和5年9月20日	対象:	クラスアドバイザー
内容	主にメンタルに不安を抱える学生対応セミナー		

研修名:	令和5年度文章力向上講座	連携企業等:	公益財団法人 私学財団
期間:	令和5年9月28日	対象:	教職員
内容:	文章力向上のためのセミナー		
研修名:	直下型地震時の対応について	連携企業等:	ヤマザキ動物看護大学、八王子消防署
期間:	令和5年10月23日	対象:	教職員
内容:	災害時の対応について		
研修名:	令和5年度人権教育研修「アンガーマネジメント」～適切な叱り方や傷つけない言葉かけを身に付ける～	連携企業等:	公益財団法人 私学財団
期間:	令和5年10月31日	対象:	教職員
内容:	カウンセリングスキル向上のためのセミナー		
研修名:	令和5年度管理者研修会	連携企業等:	公益社団法人 東京都専修学校各種学校協会、公益財団法人 私学財団
期間:	令和5年11月13日	対象:	管理職
内容:	教員評価についてのセミナー		
研修名:	令和5年度学校運営事例研修 スクール・コンプライアンスの視点から考える学校経営—価値観が多様化するなかで—	連携企業等:	公益財団法人 私学財団
期間:	令和5年11月21日	対象:	管理職
内容:	クラスマネジメント、危機管理セミナー、ロールプレイング		
研修名:	JP PET NEWS動物病院ハラスメント対策セミナー	連携企業等:	株式会社JPR(プリモ動物病院グループ)
期間:	令和6年2月16日、21日	対象:	教職員
内容:	ハラスメント防止セミナー		
(3) 研修等の計画			
① 専攻分野における実務に関する研修等			
研修名:	家庭犬のしつけ方教室 ベーシックコースオンライン2024	連携企業等:	公益社団法人 日本動物病院協会
期間:	令和6年7月14日～8月18日	対象:	グルーミング指導教員
内容:	基本的な犬の行動学、科学的で犬にも人にも優しいしつけの方法		
研修名:	グルーマー(トリマー)教師向け研修会 ドッグサロンで人気の「テディーベアカット」の顔の作り方	連携企業等:	全国専修学校動物系教育協会
期間:	令和6年8月5日、令和7年3月予定	対象:	グルーミング指導教員
内容:	顔ウィッグを使用した講義実習及びテディーベアカットの実演		
研修名:	トリミング検定員資格認定研修会、加盟校のトリマー教員の皆さんによるお悩み解決座談会	連携企業等:	全国専修学校動物系教育協会
期間:	令和6年8月8日	対象:	グルーミング指導教員
内容:	動物系専門学校でのグルーミング実習指導についての情報交換		
研修名:	動物看護教員研修会	連携企業等:	一般社団法人 全国動物専門学校協会
期間:	令和6年8月9日	対象:	動物看護指導教員
内容:	動物内科看護学実習の指導について、動物 生活環境学・ペット関連産業概論についてのワークショップ		
研修名:	日本動物看護学会 第33回大会	連携企業等:	一般社団法人日本動物看護学会
期間:	令和6年8月31日、9月1日	対象:	愛玩動物看護師、獣医師
内容:	アメリカの動物看護に見る日本の動物看護学の未来探究、在宅訪問における愛玩動物看護師の役割 他		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	ビジネスマナー基礎講座	連携企業等:	公益社団法人渋谷法人会
期間:	令和6年4月23日	対象:	教職員
内容:	ビジネスマナーの基本を学ぶセミナー、ロールプレイング		
研修名:	令和6年度 コミュニケーション研修～ビジネスマナーの基礎を学ぼう～	連携企業等:	公益社団法人渋谷法人会
期間:	令和6年5月24日、27日	対象:	教職員
内容:	ビジネスマナーの基本を学ぶセミナー、ロールプレイング		
研修名:	教員実践研修～指導力養成講座～	連携企業等:	公益社団法人 東京都専修学校各種学校協会
期間:	令和6年6月20日～8月22日(全6日間)	対象:	中堅教職員
内容:	教育指導スキル向上のための実践的指導		
研修名:	学級経営・学生対応(学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング)	連携企業等:	一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
期間:	令和6年7月25日、26日	対象:	中堅教職員
内容:	学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリングを実践的指導		
研修名:	新任指導力(メンタリング)	連携企業等:	一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
期間:	令和6年8月8日、9日	対象:	中堅教職員
内容:	新任指導能力「新任教職員の指導・育成力を高める」ための方法を学び、ロールプレイングで実践する		
研修名:	令和6年度パソコン講座 Excel2019応用(関数編)	連携企業等:	公益社団法人 東京都私学財団
期間:	令和6年8月13日	対象:	教職員
内容:	PC技術向上のための実習		
研修名:	令和6年度人権教育研修 入学(園)者選抜及び採用選考における留意点	連携企業等:	公益社団法人 東京都私学財団
期間:	令和6年9月4日	対象:	人試担当者、就職担当者
内容:	教育現場でのカスタマーハラスメントの対応		
研修名:	令和6年度人権啓発セミナー(カスタマーハラスメント)	連携企業等:	東京都 産業労働局
期間:	令和6年10月4日	対象:	教職員
内容:	教育現場でのカスタマーハラスメントの対応		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校は、その教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら点検及び評価の結果を踏まえた本校の関係者による評価を行い、その結果を教育活動等に活用することを目的に、学校の専門分野における業界関係者、卒業生、保護者、学校運営に関する専門家等で構成する学校関係者評価委員会で本校の教育活動及び学校運営の状況に係る自己評価結果の評価を行うことを基本方針とする。委員会で審議した事項に関しては、その結果または経過を校長に報告するものとする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準1. 教育理念・目標
(2) 学校運営	基準2. 学校運営
(3) 教育活動	基準3. 教育活動
(4) 学修成果	基準4. 学修成果
(5) 学生支援	基準5. 学生支援
(6) 教育環境	基準6. 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準7. 学生の受入れ募集
(8) 財務	基準8. 財務
(9) 法令等の遵守	基準9. 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準10. 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	基準5. 学生支援(国際セミナー)、基準6. 海外研修旅行

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

基礎学力の確認をテーマに全ての合格者対象に導入した入学前ドリルを、先生が内容を確認し、入学前に理解していると1年生のスタートに良いとのご意見をいただき、入学前ドリルの内容を入学後に確認テストを行うことで、基礎知識の定着を図るようにした。

退学者低減への試みとして、学生生活を体験してみるのも良いのではないかと提案をいただき、入学前の登校日で授業体験及び人間関係構築のためのリクレーションを実施し、早期退学を防ぐ取り組みをした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
碓井 菜那	関水動物病院	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
早川 明子	特定非営利活動法人 日本動物衛生看護師協会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生
前島 恵利子	ヤマザキ動物専門学校 後援会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL: <https://senmon.yamazaki.ac.jp/guidance/infodisc/>

公表時期: 令和6年8月9日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

概ねホームページ及び印刷物等で公表している。関連する企業等及び外部講師に対しては年度開始にあたり会議を開催し、校長より学校概要・運営指針等を説明している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	ご挨拶、建学の精神・教育理念、3つのポリシー、事業報告、学校案内、施設紹介、ヤマザキ動物専門学校歴史、情報公開(学校基本情報)
(2)各学科等の教育	愛玩動物看護学科、キャンパスライフ、科目紹介、情報公開(学校基本情報)
(3)教職員	ご挨拶、講師一覧、情報公開(学校基本情報)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	資格・就職、科目紹介、情報公開(学校基本情報)、資格、就職、内定者・卒業生メッセージ
(5)様々な教育活動・教育環境	愛玩動物看護学科、キャンパスライフ、科目紹介、情報公開(学校基本情報)
(6)学生の生活支援	入学支援制度、情報公開(学校基本情報)
(7)学生納付金・修学支援	学費・教材費等、入学支援制度、情報公開(学校基本情報)
(8)学校の財務	事業報告
(9)学校評価	情報の公開
(10)国際連携の状況	学校行事
(11)その他	社会への取り組み、学園の教育体制、学園ネットワーク、ヤマザキ学園同窓会

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( )

URL: <https://senmon.yamazaki.ac.jp/guidance/infodisc/>

公表時期: 令和6年4月1日